

こども目線でももしろさを探そう！

こどもケンチク新聞

第13号

2021年8月
編集発行：こどもケンチク新聞社

この人に聞きたい



建築家・デザイナー
寺田尚樹さん

今号では、建築家でありプロダクトデザイナーである、(株)インターオフィス 寺田尚樹さんに、デザインについてうかがいました。

デザインって何だろう

デザイナーを目指したのは

僕の父はグラフィックデザイナーで、小さい頃それをすごい素敵だなと感じていました。そして僕はプラモデルや模型を作るのが大好きだった。だから高校三年生で進路を選ぶとき、建築や家具など、立体デザインの仕事をしたいと思い、建築学科に進学しました。卒業後はロンドンのAAスクールに行きました。それは、日本の建築学科では学べない、立体デザイン、プロダクトデザインを学びたかったから。海外では建築というのは建築デザインだけでなくインテリア、舞台芸術、プロダクト、写真、そういうの全部やるんです。それで、総合芸術としていろんなことを学ぶために、留学しました。

一番好きな家具は？

バーナー・パントンという人がデザインした「リビンググタワー」と言う名前の家具です。大きさが2メートル×2メートルくらいあって、好きなようにいろんなところに座れるんです。なんか家具っぽくないけど、すごく楽しいと思うんだけど、入ってみたいとか思いませんか？こういうの僕大好きです。



今まで見たもので一番面白いデザインは

アンジェロ・マンジャロッティさんのエロスという名のラウンドサイドテーブルです。

このテーブルは大理石の天板が円錐形の脚に乗り、石の重みで留まっているだけのシンプルで、とても美しい。一本の脚で力学的にバランスを取るのはとても難しいんです。この美しさと構造は、大理石という素材だからこそ実現できました。だからデザイナーにとって、「素材を知る」ということは非常に重要なことです。



デザインをやっていて一番楽しいのは？

すごく面白いアイデアを思いついたときに、それをどうやって人に伝えようかって考えているときが一番楽しいです。たとえば、この時計(CARVED SWING)を思いついたのは夜お風呂に入っていたとき。文字盤の6の字がポコッと下に落ちたような振りを思いついた。そのときに「早く誰かに知らせたい！」って、すごくワクワクしました。

自分の作品で好きなものは

「15.0%」というアイスクリームスプーンです。軽くて熱をよく伝えるアルミニウムでできています。カチカチのアイスでも手の熱で温まってすくいやすくなるんです。丸い形をしているので、アイスを掘るときに手が痛くならず、少ない力で食べられるのが特徴です。

す。本当は熱を一番伝えるのは金なんですけど、それじゃすごく高いスプーンになってしまいうからアルミで作りました(笑)。

一番大変だったことは？

法律が一番難しいです。すごく面白いアイデアが浮かんだ、構造的にもできる、でも日本の法律だとそれはできないというものが多々あります。みんなの生活のための法律だから、燃えない素材で、壊れない素材で作らないといけないという風に、いろいろあります。だから法律をどう理解して、自分のアイデアを実現させるかは難しいですね。

あと、お金のバランスも大切です。すごくいいアイデアを思いついたとしても、お金が足りないと作れないので、そのバランスを考えながら作るのも大変です。

デザインをする時に何を一番大切にしていますか？

一番楽しいのは自分が面白いことを思いついた時だけ、どうやって相手に、プロダクトだったらそれを使う人、建築だったら住む人に、びっくりして喜んでもらえるかを考えてデザインするのが大切です。どんな仕事もそうだけど、相手に喜んでほしい気持ちになってもらえるようなものを作りたいです。

自分にとってのデザインを食べ物にたとえると何ですか？

「お水」かな。生きていくために絶対なくてはならないものだよ。必要。でも普段は意識しない。デザインも同じで、普段意識しなくてもそこになくてはならないもの。それってお水みたいなものかなと思いました。



CARVED SWING

数字を削り取ったような文字盤から「6」の数字がこぼれ落ちてゆっくり動く振り子になったデザイン。グッドデザイン賞を受賞したシリーズの作品。



15.0%

アイスクリーム好きをもっとアイスクリーム大好きにするプロジェクト。商品名の数字は乳固形分が15.0%以上をアイスクリームと呼ぶという、日本の成分規格から。



(株)インターオフィスは面白い家具がたくさん。オフィスの一角が防音された小部屋になる家具に入る記者たちと寺田さん。



一番挑戦したい夢は？

ずっと長く使ってもらえる物を作りたいです。流行りが終わったら無くなっちゃうようなものじゃなくて、君たちやその子どもたちの代になっても、みんなが良いと思ってくれて使っているもの。そういうのを一つデザインできたらいいなと常日頃考えています。

子ども達にメッセージをお願いします。

僕は幼稚園の頃から模型が大好きで、今もそう。みんなも好きなことがあると思うけど、好きなことは素直に、ずっと続けてください。それが仕事につながるかどうかはわかりませんが、たとえみんなから理解されないことでも、恥ずかしがらずにいきまらぬで、絶対やり続けた方がいい。それは人生の中で、何かを決めるときに物差しに必ずなるから。それと、大学は何をしたいか目的を持って行ってください。「これを学びたい」と目標を持って学んでいると、一生懸命勉強している人同士で自然とお友達になります。そういうお友達は相談相手になってくれる。一生の財産になります。そういうお友達を作ってください。

ココがワッときた！

★なんでもできてしまいうような作品などを見て、デザインはいつもとても自由で楽しいものなんだなと、改めて思いました。
●私は寺田さんの「好きなことは素直に続けてほしい」という言葉が心に残りました。自分の好きなことがどんなことでも、そのことをずっとあきらめないで続けるのが大切だと、知ることができました。
▲美しさ、構造、素材、法律、お金など、いろんなことを考えてデザインしていて、すごいなと思いました。